

美術展

11月5日(日)~11日(土) 9:00~17:00 (最終日は16:00まで)
山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

染色体験教室

8月11日(金) 10:00~12:00
山梨県立美術館・ワークショップ室

開催状況

第17回やまなし県民文化祭美術展の作品搬入が、11月3日(金)10時~16時に行われ、一般からの応募は139名で、156点の作品が集まった。翌日4日(土)9時半から専門委員と審査員、今年は30名により公開審査を行う。3回の審査を経て、県民文化祭賞に日本画の土屋さち子さんが選ばれ、県民文化祭優秀賞に彫刻、油彩、水彩、工芸部門で10名が受賞した。表彰式は最終日の11日(土)15時から行われ、16時に美術展は終了した。

参加促進事業は、「藍染めに挑戦!」として染色体験教室を実施した。好きな模様の藍染めで、オリジナルなガーゼタオルマフラーを染めるもので、多くの応募者があった。教室が始まると、参加者はそれぞれ藍染めの作業に没頭し、大変好評であった。

○美術展

部門	応募人数	応募点数	入賞・入選点数	招待
・油彩	77	83	66	38
・水彩	34	39	33	4
・版画	5	8	5	4
・日本画	9	9	9	6
・水墨墨彩	1	1	1	1
・彫刻	3	3	3	5
・工芸	8	11	7	8
・複合立体	2	2	2	2
計	139	156	126	68

陳列総点数 194点

(入選126点、審査員・招待68点)

入場者数 1,169名

○染色体験教室 (小学生以上)

講師：古屋真知子、古屋絵菜

【染色家 (工芸)】

参加者数 43名



書道展

11月14日(火)～20日(月) 9:00～17:00(最終日は15:00まで)
山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

書道体験教室～カレンダーに書いてみよう～

12月16日(土) 14:00～
山梨県立美術館・ワークショップ室

開催状況

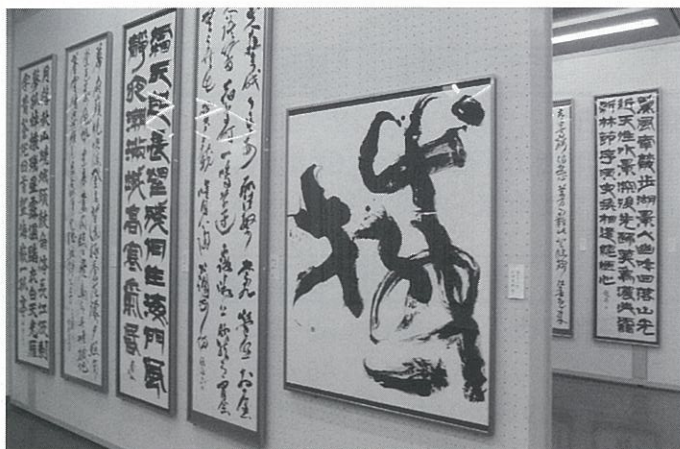
平成29年11月12日、中央書壇より日展会員の吉澤大津先生をお招きし、第17回やまなし県民文化祭書道展の審査が行われた。

今回展の応募総数は318点。前回は12点上回る出品を得た。審査にあたり、全ての作品が入選のレベルに達しているとされ、委嘱出品61点と合わせ、県民ギャラリーA・B・Cを使用し、379点の展観となった。

審査の総評として、「篆書、隸書、楷書、行草書、調和体、かな、一字書、篆刻、刻字と出品ジャンルや表現方法が多岐にわたり、日本書壇の縮図のような作品群に驚いた。特に入賞作品は、練度が高く、作品から発するエネルギーを感じる作、雰囲気を持った作を選考した。」一席の県民文化祭賞には瀧澤翠溪さんの篆書金文作品が選出された。その評は、「重厚な筆線で、紙面を制し、安定感と緊張感あふれる完成度の高い作品である」と。その他準県民文化祭賞1点、優秀賞9点、奨励賞10点、計21点の入賞作であった。

会期中には、定着してきた、書道部門のギャラリートークが2回行われ、多くの愛好者が訪れていた。

また、12月16日、書道部門の参加促進事業「書道体験教室」のカレンダー作りを、美術館ワークショップルームで開催。多くの親子連れの参加を得て、大盛況の楽しい一時であった。



○書道展

応募点数

漢字	162点
一字書	58点
調和体	17点
かな	38点
篆刻	22点
刻字	21点

(公募) 出品総点数 318点

委嘱出品数 61点

陳列総点数 379点

入場者数 1,234名

○書道体験教室

指導者数 8名

参加者数 120名

写 真 展

10月26日(木)～11月2日(木) 9:00～17:00
(10月30日は休館日、初日は13:00～ 最終日は15:30まで)
山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B

写真家 清水哲朗 写真講座

11月18日(土) 第一部13:30～14:30
第二部14:45～16:00
生涯学習推進センター・交流室A・B

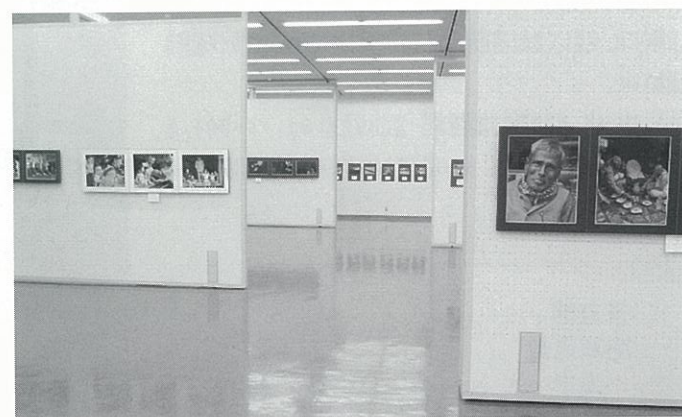
開 催 状 況

写真展は8月31日休締め切りで作品募集し、応募者数は昨年度190名だったのに対し今年度は241名、作品数は昨年度753点に対し今年度は901点と、どちらも大きな伸びがあった。特に中高生の応募者数、出品数が目立って増えており、これは各高校での部顧問の熱心な指導が行き届いていた成果と思われる。

今年度の新たな内容としては、出品種別の中にネイチャー部門(自然、風景、動物、植物、昆虫等)を新設したことがあるが、この部門に多くの応募があった。

作品の審査は昨年度に引き続き織作峰子氏に依頼し、非常に厳正な審査が行われ、滞りなく終了することができた。その選評の中で、文化祭賞 八巻長子さんの「夢みる頃」(ネイチャー部門)は、フィルム撮影された作品で自然色の魅力を感じ、時間帯、構図、気候と全てが相まって素晴らしい作品であると評している。また、全体的には光と蔭を巧みに使いながら粘り強く作品づくりに専念することで、必ず結果がついてくるものであるとアドバイスもしている。

さらに11月18日(土)にプロの写真家 清水哲朗氏を招いて写真講座を計画した。午後1時30分より県下の写真クラブの有志24人より写真作品を一人二点ずつ提出してもらい、一点ずつスクリーンに投影、清水講師より出品者の作画の意図を聞き、良い点や改善点など適切なアドバイスをいただくなど、有意義な講座になったと思う。また後半は講演「写真で伝えたいこと」と題して、モンゴルを長期にわたって取材したことを映像を通して興味深く話され、根気のよい取材活動に感銘した。



○写真展

応募点数

モノクロ単写真の部	60点
カラー単写真の部	236点
ネイチャー単写真の部	162点
組写真の部	41点
中高生の部	402点
合計	901点

出品者数	241名
入場者数	1,093名

○写真家 清水哲朗 写真講座

参加者数	102名
------	------

華道展

10月12日(木)～17日(火) 10:30～19:00
山交百貨店・5階催事場

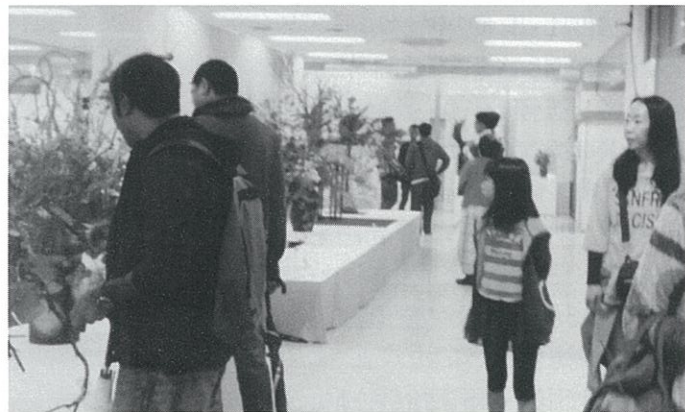
無料いけばな親子体験教室

4月22日(土)～23日(日) 13:30～16:00
岡島百貨店・7階大催場(県華道協会展会場内)

開催状況

第17回やまなし県民文化祭華道展は、前回同様、山交百貨店5階催事場において開催いたしました。開場レイアウトの一部にも新たな工夫を加えて、「秋」を感じさせる大小の作品が展示され、入場者も約3,000名と大盛況のうちに終了しました。

又「いけばな体験教室」は、会場の都合により第25回山梨県華道協会展開催会場の一區画(岡島百貨店7階)にて開催されました。県内19流派の代表者による、分かりやすく丁寧な指導は、多数の参加者に大いに喜ばれ、伝統文化「いけばな」の素晴らしさを体験していただけたと思います。次回もこの体験教室を開催したいと考えています。



○華道展

出瓶者数

山梨県華道協会加盟流派代表

…19名

同流派選抜会員…………… 113名

合計…………… 132名

入場者数…………… 約3,000名

○いけばな体験教室

指導者数…………… 38名 (19×2日間)

参加者数……………120名 (2日間)

フラワーデザイン部門展示会 ～花・奏で～

11月18日(土)～19日(日) 10:00～19:00
甲府市総合市民会館2F・遊亀公民館・展示室

フラワーデザインワークショップ

11月18日(土)～19日(日) 14:00～15:00
フラワーデザイン展会場内奥 ワークショップ会場

開催状況

11月3週目の土・日、第17回やまなし県民文化祭フラワーデザイン部門展示が恒例となりました市総合市民会館2F遊亀公民館展示室において ～花・奏で～ のタイトルで開催しました。

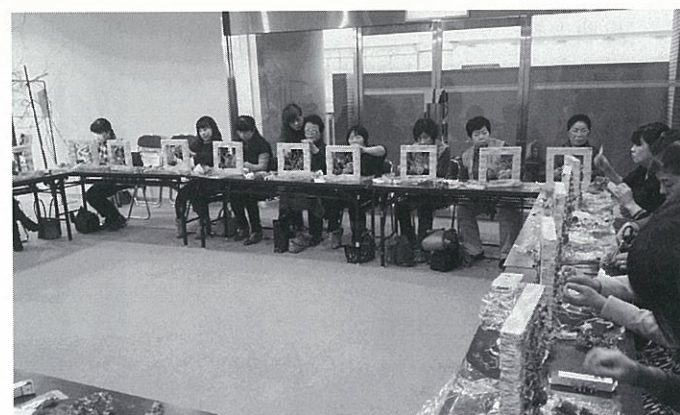
昨年と同じ時期での開催の為、早めに今年度のタイトルを決め、昨年とは一味違う作品群を展示できます様にと出展者に周知しました。その他、案内状は日程やタイトル告知の為だけではなく会場に足を運んでみたいと感じていただける案内状にと…毎回デザインを工夫し、今年はどうな?と展示会の案内を楽しみにされる方もいらっしゃる…との感想を頂くようになりました。

展会場奥で併催する体験講習会も回を重ね、リピーターで案内状が届いたと同時に申込みをされる方も少なくなく、今年も初日の土曜は中・高校生対象に無料講習とし、日曜は一般対象にフラワーデザインの幅広さを伝える講習の今回は「フレームデザイン・壁掛や机上に多用出来る枠のデザイン」とし、今年は定員を増やしましたが、近年は両日も開催日迄に定員以上のお申し込みを頂く状況で、次回の体験講習には必ず案内をください…との要望も多数受けました。

魅力ある案内状とともに初日の昼と夜二回、テレビニュースで会場風景や内容が流れた事は非常に大きく「テレビで見て…」と初めて会場を訪れた方々で会場内は活気とともにご質問も多く頂きました。

テレビ効果と新しい人達に向けての告知方法・二つの重要性を痛感した今回の展示会、今後に向けて新たな視点を見出しました。総合市民会館が改修中で来場者も心配でしたが、盛会のうちに無事に終了出来ました。

- 展示会
出展者数…………… 33名
入場者数…………… 1,000名
- ワークショップ
指導者数…………… 4名 (2日間)
参加者数…………… 50名 (2日間)



ハンドクラフト展

10月27日(金)～11月2日(休) 9:00～17:00 (最終日は15:00まで)
山梨県立美術館・県民ギャラリーC

ハンドクラフト体験教室

7月23日(日) 10:00～15:30
甲府市遊亀公民館2階・講義室2号

開催状況

第17回やまなし県民文化祭「ハンドクラフト展」は、山梨県立美術館・県民ギャラリーCで開催されました。

台風状況にもかかわらず、多くの方々にご高覧いただきお褒めの言葉や、温かな励ましの言葉をいただき感謝に堪えません。

今回は18分野の作品展示となりました。大賞は「からくり」が選ばれました。ユーモラスの中にも伝統の技が際立ち、見るものに感動を与えました。また、子供達にも好評で、動くもの、手に触れられるものに興味をもったようです。

今年度はいろんな事にチャレンジしてみました。ハンドクラフトを多くの方々に知っていただきたく、また、分野の拡大につなげようとの思いで公募に団体の枠を設定しました。その結果2団体の応募があり、良いスタートとなりました。設営には車椅子の方でも安心してゆったりと見ていただけるように、間仕切りをなくし、作品と作品の間を広げるなどの工夫をしてみました。車椅子の方が何人来られ、自由にゆったりと見ている様子を見て設営の目線を変えて良かったと感じました。また、さらなる工夫を考えたい、来期への反省と工夫につなげたいと思いアンケート箱も置きました。

数字で評価される昨今、手作りという地味な作業・練りこまれた技術・心のこもった作品に触れられることに感謝し、会員一同さらなる技術の向上に努めたいと思います。

体験教室では、工芸盆栽の「使えるインテリア」とスタンドグラスの「オーナメント」に多くの応募があり、参加者から「楽しかった。」との好評をいただき嬉しい限りでした。



○ハンドクラフト展

参加者数 会員……………11名
一般公募入選者……54名
合計……………65名

入場者数……………1,216名

○ハンドクラフト体験教室

指導者数……………14名
参加者数……………68名

文 学

表彰式 平成30年2月24日(土) 14:00~16:30
山梨県立文学館・研修室

短歌ワークショップ

10月28日(土) 13:30~16:00
生涯学習推進センター・交流室B

開催状況

第17回やまなし県民文化祭文学部門の作品募集は、例年どおり、小説・児童文学・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳の7部門で実施し、271名の方から282作品をお寄せいただきました。部門ごとに審査した結果、選ばれた受賞者のみなさんには、2月24日に行われた表彰式で賞状を授与しました。今年度は、例年になかった時代小説の応募や10代から90代までの幅広い年齢からの応募が印象に残りました。これからもますます創作活動に励んでいただきたいと思います。

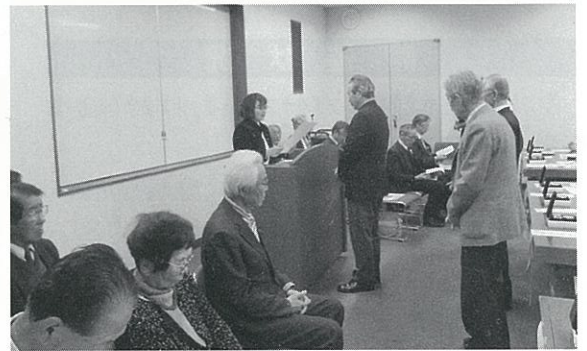
参加促進事業は、本年度は短歌部門で実施しました。専門委員の三枝浩樹氏、古屋正作氏、中沢玉恵氏、川崎勝信氏に講師を務めていただき、短歌のワークショップを開催したところ、21名の参加がありました。ワークショップでは、前半に「ショート・レクチャー」として三枝浩樹氏に、小・中・高校生向けの短歌について全体の導的なお話をいただきました。後半は、合評会（歌会）を行い、参加者に事前に提出していただいた作品について参加者同士で意見交換を行うとともに、講師による講評と質疑応答も行いました。提出していただいた短歌作品は、それぞれ着眼点がとても個性的で、小・中・高校生らしい瑞々しさに溢れ、講師も高く評価していました。来年以降、参加者の中から一人でも多く県民文化祭の文学部門に作品を御応募くださることを期待しています。

○応募者数

小説	11名
児童文学	12名
エッセイ	26名
詩	20名 (31作品)
短歌	67名
俳句	60名
川柳	75名
(合計)	271名 (282作品)

○短歌ワークショップ

講師	4名
参加者数	21名



第17回やまなし県民文化祭文学作品集
「県民文芸2017」

大茶会

10月8日(日) 10:00~15:30

山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)

茶道体験教室

12月3日(日) 10:00~15:50

素心菴 (芸術の森公園茶室)

開催状況

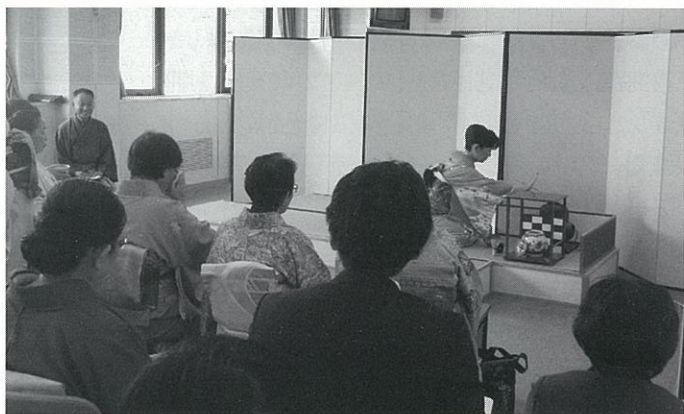
・大茶会

各席古来より伝わる掛軸、茶花、菓子、茶道具類など季節感を大事に趣向を凝らし、席作りをしました。子供からお年寄りまで幅広く参加され、お道具の説明にも興味深く聞き入っていらっしゃいました。茶席ははじめての方も菓子抹茶を召し上がる様子は微笑ましく、楽しく過ごして頂けたと思います。亭主と客が心かよわす一服の茶との出会いを大事に、伝統文化の茶道を身近に関心が高まる事を願っています。

・茶道体験教室

本年度は大日本茶道学会が担当し、8名で指導しました。100名の参加者は幼児から小中学生、大人、外国人も加わり20名1組で5回にわたり行われました。体験内容は、客の作法「席入り・お辞儀の仕方・お菓子をいただく・お茶をいただく・お道具の拝見」、亭主としてのおもてなしの仕方「茶笥で茶をたてる・お菓子お茶を運び出す・菓子器・茶碗を下げる」です。体験を終えると緊張がとけて、笑みがこぼれます。決められた時間内でしたが、礼儀や、思いやりの大切さを知り、茶道は、楽しいと身近に感じて頂けたと思います。

茶道を次の世代へ伝えていくお手伝いをして参ります。



○大茶会

参加流派

1席：表千家、2席：煎茶道小笠原流、3席：大日本茶道学会、4席：裏千家、5席：有楽流、6席江戸千家

関係者・スタッフ数…………… 180名

来場者数…………… 2,650名

○茶道体験教室

指導者数…………… 8名

参加者数…………… 100名